

家保通信

Vol. 37 No. 1 4月号
東京都家畜保健衛生所

令和6年3月26日

かほクイズ

農業の持続可能性を向上させる
取組のことをなんという？

- ①HACCP
- ②GAP
- ③HTT

答えは裏面

高病原性鳥インフルエンザの発生続く！警戒を！

3月12日に、広島県北広島町で10例目（採卵鶏8万羽）の高病原性鳥インフルエンザが発生しました。野鳥等では、全国で**137例**の感染が確認されています。引き続き、**飼養衛生管理基準の遵守と健康観察を徹底し、異状がみられた場合は当所まで直ちに通報**してください。発生農場の疫学調査の結果は、農水省HP（以下URL）に公表されています。これらを参考に、自農場の衛生管理について再点検しましょう。

令和6年3月22日時点



農林水産省HP「令和5年度 鳥インフルエンザに関する情報について」:

https://www.maff.go.jp/j/syoutan/douei/tori/r5_hpai_kokunai.html



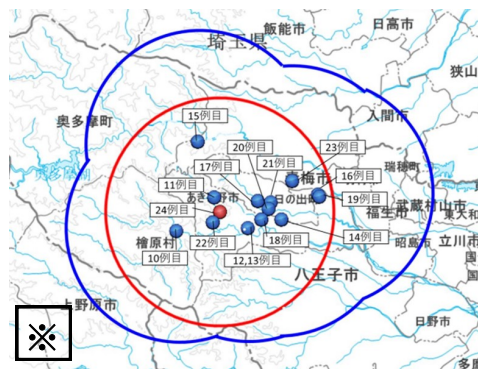
都内で野生イノシシの豚熱陽性が続く！

都内では昨年8月以降、野生イノシシで豚熱の感染事例が続いています。また、埼玉県や神奈川県などの近県でも、野生イノシシの感染事例が続いています。飼養衛生管理基準の遵守や適切なワクチン接種をお願いします。

都内野生イノシシ豚熱陽性事例（令和6年3月11日以降）

例数	回収場所	発見日	発見時
24	あきる野市乙津	令和6年3月11日	死亡

※ 赤丸: 今回発見場所
赤丸円: 発見場所から半径10km圏内
青丸: 10例目（令和5年8月）以降発見場所
青丸円: 10例目（令和5年8月）以降発見場所から半径10km圏内



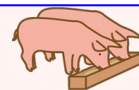
家保通信のメール配信実施中！

家保通信について、ペーパーレス等の観点から、郵送だけでなくメール配信も実施しております。郵送からメール配信へ変更を希望される方はご連絡ください。また、紙面は当所HPにも掲載しています。家保通信の送付が不要となった方や、送付先の住所やメールアドレスが変更になった場合は、お手数ですが当所までご連絡をお願いします。





薬剤耐性菌について ～MRSAとは？～



現在、世界的に薬剤耐性菌の増加が問題となっています。薬剤耐性菌の一つとして、MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)があります。MRSAは、ヒトや動物の皮膚等に存在する黄色ブドウ球菌のうち、抗菌薬が効きにくくなった菌のことです。一般的に健康な人や豚の疾病の原因とはなりませんが、免疫力が低下している場合、感染症を引き起こすことがあります(現在ヒトの病院で広まっているのはヒト由来のMRSAです)。豚由来のMRSAは、テトラサイクリンや亜鉛の殺菌効果に対する耐性を持っています。国内の農場では豚由来MRSAの陽性率は低いですが、今後重要視される可能性があります。MRSAを増やさないよう、以下の点に気を付けましょう。

・**テトラサイクリンは治療での使用、亜鉛は栄養成分として必要な最小限の使用に限定することが重要です。**



農林水産省HP「動物に使用する抗菌性物質について」:

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/torikumi.html>



労働負担の軽減に向けて ～スマート農業のご紹介～

畜産従事者の年間労働時間は長く、特に酪農は他の畜種に比べて長い傾向があります。労働負担軽減のための取組として、スマート農業技術の活用が挙げられます。現在開発・販売されて

いるスマート農業技術について、農水省HP(以下URL)に掲載されています。乳用牛以外にも、肉用牛、豚、鶏と畜種ごとに掲載されています。生産性の向上と省力化に向け、是非活用をご検討ください。スマート農業技術の導入について、取り組み内容によっては、都の補助事業の活用も可能です。

○ 1人当たり年間平均労働時間(令和2年)

酪農	肉用牛	養豚	製造業
2,057	1,685	1,677	1,838

農林水産省HP「スマート農業技術カタログ(畜産)」:

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/smart/smart_agri_technology/smartagri_catalog_chikusan.html#nyu



クイズの答え: ②

農場HACCPが主に食品安全・家畜衛生の向上を図る取組であるのに対し、GAPはさらに労働安全や環境保全、アニマルウェルフェアなどを含む持続可能性の向上を目指した取組となっています。2017年にGAPの認証プログラムであるJGAP畜産の審査が始まり、2023年5月には、全国で271の経営体が認証を取得しました。JGAP畜産の認証を取得することは生産過程の安全管理や持続可能性に対する取り組みの客観的な証明となり、「見えない価値」を見える化することで消費者の信頼確保につながります。③のHTTとは、東京都の節電をはじめとした電力確保の取り組みのことです。

発行日 令和6年3月26日

編集発行  東京都家畜保健衛生所

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/animal/kaho/>

〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町
大字平井2759

TEL : 042-588-7171

携帯 : 090-6941-4315(緊急用)

